

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 17 日(土)

試合時間：13:20～

主審：佐藤 安里紗

副審：山中 萌衣

福岡教育大学	● 6 3	20	—1st—	13	○ 6 8	東海大学九州
		18	—2nd—	13		
		13	—3rd—	20		
		12	—4th—	22		

第 1 ピリオド

開始早々、東海大は# 10 井上が力強いポストプレーで、得点を重ねる。対する福教大は、# 6 鶴川の鋭いドライブ、巧みなスクープシュートで応戦するなど、激しい攻防が繰り広げられる。その後、福教大# 17 中尾が意表をつく 3 P シュートを決め、福教大が波に乗り始めた。東海大はスティールから流れを作ろうとするが、上手く噛み合わず得点につながらない。終了間際、福教大# 12 森川がブザービーターを決め、20-13、福教大リードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

東海大は第 1 ピリオド同様# 10 井上にボールを集め、そこを起点にオフェンスを展開する。しかしながら、福教大の厳しいディフェンスからリズムを作った福教大は、# 6 鶴川、# 12 森川がそれぞれ 1 対 1 で得点を伸ばす。立て直したい東海大は残り 3 : 48、タイムアウトを請求する。その後は# 77 赤坂の 3 P シュートを沈めてから、徐々に落ち着きを取り戻すが、追いつくには及ばず。38-26、福教大 12 点リードで前半を折り返す。

第 3 ピリオド

東海大# 6 山下のジャンプシュートが決まったのを契機に、一気に攻め立てる。# 14 小澤、# 6 山下の連続 3 P シュートにより、開始 1 分半で 4 点差に詰め寄り、福教大はたまたまずタイムアウトを請求する。タイムアウト明けは# 6 鶴川、# 9 浅田が冷静なプレーを見せ、着々とシュートを沈める。対する東海大はリズムよく 3 P シュートを打つもリングに嫌われる。福教大# 12 森川が 3 P シュートを決め、再び 10 点差としたところで、東海大はタイムアウトを請求。その後、東海大は# 6 山下の 3 P シュート等で、徐々に点差を縮めるも、51-46、福教大がリードを保ったまま第 3 ピリオド終了。

第 4 ピリオド

序盤に東海大は# 10 井上のポストプレー、# 6 山下がフリースローを確実に決め、1 点差まで追いつく。対する福教大は、# 17 中尾のリバウンドからのシュートで東海大にリードを渡さない。しかし、東海大# 14 小澤が攻めの起点となり、残り 6 : 00 に同点に追い付く。その勢いのまま、東海大は# 10 井上のパスから# 8 金子シュートが連続で決め、その後も# 8 金子が攻守ともに活躍を見せる。終盤、東海大# 14 小澤のスティールからのレイアップが決まり、これが試合を決定づけた。しかし、最後まで攻めの姿勢を見せた福教大# 6 鶴川が 3 P シュートをねじ込むも一歩届かず、63-68 で東海大が逆転勝利をおさめた。